



エルムレーン ミスター アレックス



未来を拓く 次世代づくり

発行所：一般社団法人 ジェネティクス北海道

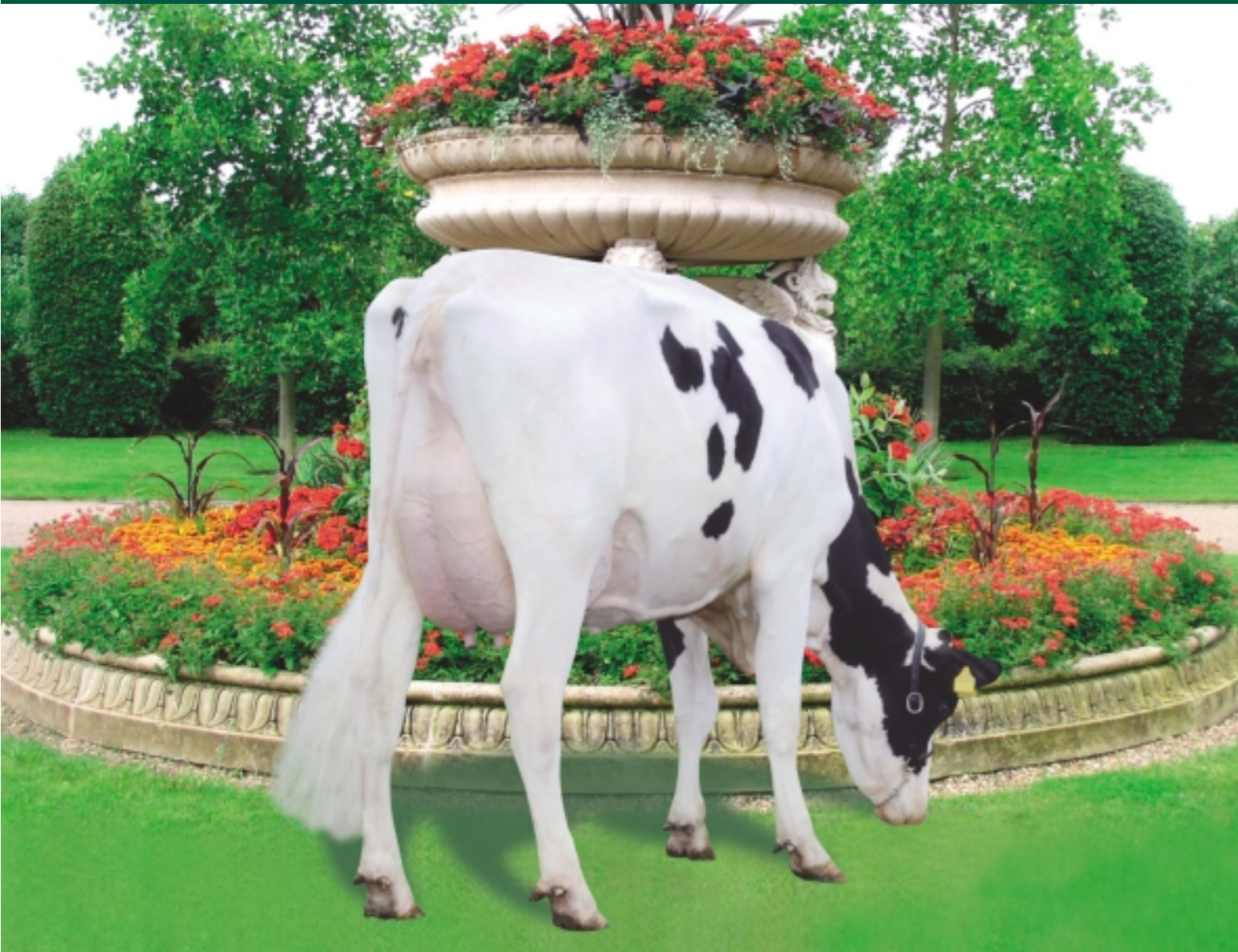
発行人／松尾 誠之

平成26年9月15日号

Sire

サイア

Vol.408



父：デユドック ミスター バーンズ ET
母：エルムレーン J ストリーム アレキサンドラ ET VG-86
母の父：アツプリイス ジェット ストリーム ET
母の母：アツプリイス ガーター オールイグラ ET VG-86-USA



プリンセステール アレックス タイラー
鹿追町/石村 正昭氏 所有

- 「バーンズ」×「ジェット ストリーム」×「ガーター」のアウトクロス
- 母系は高インデックスカウ「パトロン アリー」VG-87
- レッドキャリア！産子難産率6の安産タイプ！

●写真撮影/ホルスタインマガジン社



（業務部）
TEL(011)242-9645
FAX(011)242-9651
（改良部）
TEL(011)242-9646

●道北事業所 TEL(0166)57-6111 FAX(0166)57-6113
●道東事業所 TEL(0153)72-4554 FAX(0153)72-1325
●道央広域事業所 広域 TEL(011)375-4395 FAX(011)375-4411
道央 TEL(011)375-4422
●十勝北見事業所 TEL(0156)63-3838 FAX(0156)63-3839
●十勝清水種雄牛センター TEL(0156)62-2158 FAX(0156)62-2150
●道央種雄牛センター TEL(011)375-3939 FAX(011)375-2330

〒060-0004 札幌市中央区北4条西1丁目1番地 北農ビル13F ホームページアドレス <http://www.genetics-hokkaido.ne.jp>

CONTENTS

- 2 現場レポート(乳) 牛の温かさを伝えたい!
～酪農教育ファーム—Riches Hill'sを訪ねて～
- 4 交配相談レポート～有限会社 北の大地 交配相談による牛群の変化について～
- 6 ☆食レポ☆ 江丹別の青いチーズ
- 7 ジェネティクス北海道 優秀種雄牛生産者表彰
- 8 新規種雄牛の紹介(乳) JP3H55206・JP3H55177・
JP3H55178・JP3H55080
- 12 注目のカウファミリー 第20回 ニューウエイ パトロン アリー ET VG-87
- 14 北海道総合畜産共進会(肉用牛)
- 15 新規種雄牛の紹介(肉)

「母子」画：富田 美穂 HP「牛の木版絵と絵画」<http://miho-tomida.jimdo.com/>
ブログ「うしのつむじ」<http://usinotumuji.blog28.fc2.com/>

牛の温かさを伝えたい！

～酪農教育ファーム——Riches Hill'sを訪ねて～



【酪農教育ファームとは】

“酪農教育ファーム”は、平成10年7月に一般社団法人中央酪農会議が教育関係者と酪農関係者の協力を得て、酪農教育ファーム推進委員会を設立したことが始まりです。牧場を教育の場として開放し、子どもたちに酪農体験を通じて「食やいのちの大切さ」を学ばせたいという教師と酪農家双方の思いが一致して、酪農教育ファーム活動が誕生しました。現在、道内には50ヶ所以上の認証牧場があります。

今回紹介させていただく“Riches Hill's=富岡牧場”は、平成17年に



富岡一也さん

認証を受けてから、現在に至るまで日高支庁管内唯一の酪農教育ファームです。

【Riches Hill's概要】

Riches Hill'sのある浦河町は、札幌市からおよそ180km離れた、北海道東側中部で太平洋に面した軽種馬と日高昆布で有名な町です。人口は約13,000人で、海洋性気候の影響で夏は涼しく、冬は温暖なため「北海道の湘南地方」とも呼ばれ、豊かで住みよい自然環境に恵まれています。

現在牧場主である富岡一也さんは三代目で、祖父が長崎から入植された時は、野菜・稲作が主で牛は数頭飼養していた程度でしたが、一也さんの代で酪農専業に変換しました。現在は作付け面積16haでラップサイレージやデントコーンを作っています。ホルスタイン経産牛20頭、未経産牛29頭、黒毛和種1頭を飼養し、乳牛一頭

当たりの乳量は年間約8,000kgです。

【酪農教育ファームとしての活動】

日頃から「北海道の酪農は消費者との関わりがほとんどない。それはとても悲しいことだ」と感じていた富岡さんは、平成17年に新聞広告で“酪農教育ファーム”の存在を知り、すぐに認証申請しました。「認証が下りるまでには研修レポート・写真の提出と現地審査があり、牧場側と体験者側、双方の衛生面や防疫の為に安全・清潔であることが求められます。また保険の加入も必須事項で、3年に1度は現地調査もあります。多少の苦勞はありますが、全道各地の仲間が集まって情報交換ができるから楽しいです」。

体験の内容は、搾乳・バター作り・斑紋書き写しで、2～3時間のコースです。主に地元の幼稚園・小中学生や親子連れが多いですが、中には本州から癒しを求めて来る方もいるそうです。また大学生やJICAの海外研修生など、様々な方々の体験の場になっています。多い時は一日100人を受け入れたこともあるそうで、酪農体験の人気ぶりがうかがえます。

多くの方が酪農に触れ、興味を持っていただける嬉しさの反面、やはり大変なことも多いようです。「牛を実際に見たことが無い人がほとんどですので、自分の常識が相手にとっては非常識なことが多いです。例えば、牛乳は雄牛からも雌牛からも出ると思っている人が多いので、まずはそこから教えないといけない。また、言葉の選び方にも苦勞しました。ここにいる黒い牛が雌で、白のが雄ですよ。例えば、全世界の黒い牛が雌だと思われてしまったり…」と始め

た当初を思い出しながら話してくださいました。

また、子供達に「牛の温かさ」を知ってもらうために、聴診器を持たせて、少しでも牛の側に行き触られるようにしています。牛に触られることは“人が慣れているのではなく、牛が慣れているんだよ”と、忘れずに伝えていきます。思いもよらない所へ行ってしまふ子供たちもいるので、線を引いて立ち入り禁止にしたり、なるべく目を離さないようにしたり、「どれだけ安全に楽しく体験していただくかを試行錯誤しています」と様々な工夫をされていました。

今後の酪農教育ファームの目標や伝えたいことについて伺いますと、「スーパーでは他の飲料と同じ場所に並べられてしまっていますが、牛乳は紙パックに入って工場から出てくる冷たい飲み物ではなく、“牛”という生き物が命を削って作る温かいものだ、もっと多くの人に知ってほしいです。そう話す富岡さんは、多くの人に“酪農”の重要性や“牛”が人間と同じ血の通う生き物だということを伝えるプロであり、その目はとても優しく暖かでした。

【乳牛改良】

富岡さんは、日高NOSAI東部家畜診療所の代行授精師としても仕事されており、自家授精も行っています。改良について伺いますと、

「まず“乳器の付着が良いこと。バターを作るので成分率が高く、乳量は年間9,000kgを目標に長命性の高い牛群”を目指しています」。

現在「ジャンピ」の娘牛を搾っていますが、牛の大きさも中程度で気質も大人しいので、酪農体験にも適しているそうです。乳器の付着も良く、肢蹄も問題ないので、今後も活躍してくれると期待しており、「さらに「ジャンピ」を使っていきたいと考えています。まだ未経産ですが、「アイオン」や「スパークリング」は体型が良く、特にアイオンのREDも産まれたので乳器を付けるのが楽しみです」。

性選別精液も積極的に使用しています。「以前は生まれる子牛の半分は雄で、選んだ種雄牛の娘がどんな感じなのかを掴むまでに時間がかかり苦勞しました。性選別精液が販売されてからは、この親の娘を残したい！という牛に使えば雌を取る可能性が高く、分娩も軽くて予定日からそんなにずれないのが良いですね。それに娘が多ければ選別して個体販売を行うこともできるので、受胎率を考慮しても使う価値は大いにあると思います。今は年間7頭前後個体販売に出すことができています」。

現在は全体の授精の約80%を性判別精液で行っており、昨年の分娩は18頭で、そのうち性選別精液



牛舎風景

で産まれたのが13頭で、100%雌でした。「牛舎の都合上これ以上経産牛は繋げないので、性選別精液を使用して、育成牛の個体販売をさらに増やしていきたいと考えています。最近では性選別精液の種類も増えてきたので、とても選びやすいです」。

【最後に】

最近、学校給食から牛乳を無くするという動きがあったり、牛乳・乳製品の消費量が減ったりと、“酪農”というものから消費者が離れていく傾向にあるのが現状です。普段の生活の中で牛に触れることもほとんど無く、その中で酪農教育ファームという存在は、体験した方々、特に子供たちにとっては“食”と“生命”というものを深く考え、感じ取る貴重な機会です。また、消費者と生産者をつなぐ大切な役割も果たしています。今後こういった受け入れ牧場・参加者ともに増え、“酪農”がもっと身近な産業になることが、酪農の発展の大きなきっかけになるのではないかなと感じました。

この度は、ご多忙中にもかかわらず取材に応じてくださった富岡一也さんに感謝申し上げますとともに、富岡牧場の今後のさらなるご発展をお祈りいたします。

※酪農教育ファームの詳細については、以下にお問い合わせください。

(一社)中央酪農会議 業務部 様
TEL: 03-6688-9841

(道央広域事業所 大崎悠里)



聴診器を利用して、牛を触る子供たち

～交配相談レポート～

有限会社北の大地 交配相談による牛群の変化について

図1 過去10年間近交係数の推移



図2 飼養規模別平均近交係数



図1のグラフは北海道北部に位置する猿払町にある「有限会社 北の大地」の過去10年間の近交係数を示したものです。

近交係数の上昇は大規模牧場に

とって頭を悩ます問題であり、日本ホルスタイン登録協会北海道支局の調べでも、飼養頭数規模の増加は平均近交係数の増加につながると示唆されています。(図2)

当牧場も飼養頭数が約800頭と多く、近交係数のコントロールは課題の1つでした。

しかし「平成22年に交配相談を始めてから、意識しないうちに近交係数が下がっていきました。」と井上裕幸さんは話してくださいました。

今回は「有限会社 北の大地」代表取締役 井上勝敏さんのご子息で構成員の井上裕幸さんに「ジェネティクス北海道交配相談サービス」による牛群の変化についてお話を伺いましたのでご紹介いたします。

～はじめに～

(有)北の大地は、平成15年に親戚同士の3戸を構成農家として法人化され、平成17年に稼働し

始めることにしました。無料というのもきっかけでした。」

～効率を求めて～

法人化と大規模化に伴い、今まで以上に牛に効率の良さを求めるようになったそうです。搾乳作業をよりスムーズ・スピーディーにという目標のために改良形質は第1形質に「後乳頭の配置」、第2形質に「乳器」を設定されています。

「搾乳性が悪かったり、ミルクアがかけづらいと搾乳に時間がとられるので、そのような牛はどうして

も淘汰対象になります。そのため今は乳器を重視しています。昔は、乳頭が開かないように中央靱帯の強い種牛を選んだり、大きな牛の方がいいのかなと思っていた時期もありました。でも毎日毎日牛を見ている中で、小柄な方がうちに合っていること、中央靱帯も重要

だけど乳頭の配置が垂下している方が作業しやすいと実感するようになりました。長く交配相談をしていますが、改良したいと思ったことはその都度GHの担当者に相談し、種雄牛の選定や改良目標形質の見直しを行っています。」

～牛にも変化が～

効率を求めて改良してきた結果、牛にも変化が見られるようになったそうです。全国的にも後乳頭の配置は年々内付傾向へと進んでいますが、交配相談によって生まれた初産娘牛を見せていただくと、搾乳しやすいような、後乳頭がまっすぐ降りている個体が多くみられました。(写真③)

井上さんも「乳頭の配置は気にならなくなってきました。意識しなくなったという感じです。いい意味でも悪い意味でも「目立つ牛」や「気になる牛」は群で飼う場合には手を焼きます。作業しやすくて故障のない牛ほど「目立たない牛」ですし、そのような牛を増やすことが世代交代をする上でも重要なテーマだと思っています。誰が扱っても作業しやすい牛を増やすのが目標です。」とおっしゃっていました。



写真② 取材を受けてくださった井上裕幸さん



写真③ 後乳頭が垂下しています!!



写真① フリーストール牛舎内

次のページへ続きます。

また近交係数についても、「近交係数を上げるとどうしても繁殖が悪くなるイメージがあるためできればアウトクロスの牛を使いたいです。それと同時に能力や子出しの良さを求めるのはいよいよ難しくなってきます。交配相談をすることで近交係数の部分を心配しなくていいのは

とても助かります。」と話してくださいました。

大規模牧場ならではの課題は数多くありますが、「5年10年続けて効果が見えてくるものだと思うので今後も継続していきたい」と伺うことができ、交配相談が少しでもお役

に立っているのではと感ずることができました。

お忙しい中、快く取材を引き受けてくださった有限会社 北の大地 井上裕幸さんにこの場をお借りして深く御礼申し上げます。

(改良情報課 藤元 郁子)

ジェネティクス北海道 優秀種雄牛生産者表彰

平成22年より当団で実施している改良に顕著な貢献をした優秀種雄牛の生産者に対する顕彰制度に基づき、この度の種雄牛評価成績2014-8月の総合指数(NTP)上位40位以内に新しくランキングされた3頭の国産種雄牛の生産者を表彰いたしましたので、その受賞者を紹介します。

NTP 第4位	JP3H55206	エルムレーン ミスター アレックス	有限会社 福屋牧場
NTP 第6位	JP3H55178	オムラ スイテーター ハラング	小椋義則牧場
NTP 第15位	JP3H55080	エンデバー ジュディ ヴォイス	会津司牧場

有限会社 福屋牧場 (北海道恵庭市)



左から 福屋栄人代表取締役社長、当団 松尾専務理事

昭和5年に創設者である福屋茂見さん(栄人さんの祖父)が恵庭市戸磯に入植以来、徹底した土づくり・草づくり・牛づくりを基本に酪農業を始め、継続的循環農法を継承し、親子3世代に渡って創業以来84年酪農専業として経営をされています。

平成3年に現在地に移転し現在230頭(経産牛130頭、未経産牛100頭)、年間出荷乳量1,250t 経営面積73ha(牧草地55ha・デントコーン18ha)タイストール牛舎(50頭規模)、フリーストール牛舎(育成牛も含め150頭規模)、6頭Wヘリンボン式ミルクパーラーシステムで環境に配慮した経営を行っています。

又、共進会にも積極的に参加しており、平成17年に栃木県で開催された第12回全日本ホルスタイン共進会ではエルムレーン スカイチーフ サニーET(EX-92)が最高位賞を獲得するなど数多くの輝かしい成果を上げております。

小椋義則牧場 (北海道枝幸町歌登)



左から JA宗谷南 佐々木乳牛改良課長、当団 梶谷常務理事、義則さんと尚美さんご夫婦

当団では前回に続いての表彰となります。これまで14頭目の検定済種雄牛を造成しており、種雄牛評価成績2014-8月では以下の4頭の生産種雄牛がNTP上位40位内にランキングしています。

第5位	JP3H55046	オムラスイテーター ヤルジヤン ET
第6位	JP3H55178	オムラスイテーター ハラング
第14位	JP5H55084	オムラスイート エテーター ET
第19位	JP5H55214	オムラスイテーター スマーク J ET

会津司牧場 (北海道天塩町)



左から 里衣子さんと司さんご夫婦と娘の友唯ちゃん

司さんが高校を卒業した翌年の昭和61年に、父が経営していた肉用素牛の牛舎を改造して搾乳牛12頭(当時はバケツ搾乳)で酪農をスタート、平成10年12月に現在のタイストール式繋牛舎が完成し、現在170頭(経産90頭、未経産80頭)を飼養しています。昨年の出荷乳量は827tで1頭平均は9,500kg。

手がかからず長く搾れる牛を理想とし、乳量と肢蹄・乳器を重視しながら能力と体型のバランスを考慮した交配を心がけています。「ジェネティクス北海道の種雄牛造成事業に参加させていただき、様々な血統の牛を牛舎に置くことが出来ました。今後もジュディファミリー、またこれらのファミリーから種雄牛が誕生してくれるといいですね。」

石田淑子が行く! Moo飲んだ? Moo食べた?

皆さんは国際線ファーストクラスに乗ったことはありますか?

一体どんな料理が提供されるんだろう...未知の世界に思いを馳せること26年。

そんな私が出会いました乳製品が、国際線ファーストクラスでも採用された経歴をもつ【江丹別の青いチーズ】!

テレビ番組などで度々クローズアップされるこのブルーチーズをご存知の方も多いのでは...??

その噂のチーズを製造、販売している「伊勢ファーム カウ&カーフ」

へ早速車を走らせました。冬は-35℃、夏も30℃を超える寒暖差の激しい江丹別で、この日迎えてくださった伊勢昇平さんはとにかく乳質を活かした製品作りにこだわっています。もちろんチーズではありません。

まず御馳走になったのはソフトクリーム。「余計なものを含まないから溶けやすいけど、ミルク本来の味」と伊勢さんがおっしゃる通り、優しい甘さとまろやかな口当たり♥

(ソフトクリームは「北かり旭川本店」、「道の駅あさひかわ」「JAあさひかわ農産物直売所あさがお」など市内各地で味わうことが可能です。)

また【江丹別の青いチーズ】という商品名で話題のブルーチーズをいただいた際には、独特の臭みが無く、むしろ生乳の深いコクと旨味があり食べやすさに感銘を受けました!鼻から抜ける味わいも最高です!この時はワインの嗜みがない自分をひどく悔みました...

「江丹別という土地を感じてもらえるように」「自然に近い形



伊勢昇平さんと牧場のブラウンスイス

で管理された牛から、季節ごとのそのままの乳質を生かした商品を作る」「江丹別の気候に合うチーズはブルーチーズと確信し、ブルーチーズの一本勝負」とおっしゃる伊勢さん。

現在のこの【江丹別の青いチーズ】はさらなる美味しさを目指して新製法での改良を重ねており、心待ちにするファンも多くいらっしゃいます。もちろん私もその中の1人!

(取扱店舗は市内レストラン、「旭川グランドホテル」、「西武旭川店」、「JAあさひかわ農産物直売所あさがお」など。※販売状況に変更がある場合があります。)

ソフトクリーム、ブルーチーズの他にも牧場で飼養された豚で作った【自家製ソーセージ】とお持ち帰り可能な【アイスモナカ】も好評です。

★メニュー★
ソフトクリーム250円、
江丹別の青いチーズ100g/700円、
自家製ソーセージ5本入り600円、
アイスモナカ200円



伊勢ファーム看板 ソフトクリームと放牧地



江丹別の青いチーズ

伊勢ファーム カウ&カーフ
(4月~10月) 平日 PM1:00~PM5:00 土日祝 AM10:00~PM6:00
定休日火曜日 住所:旭川市江丹別町拓北214
◀公式facebook「江丹別の青いチーズ」https://www.facebook.com/etanbetsu.blue▶
詳しくは公式Facebookをご覧ください。

新規種雄牛の紹介 乳用種雄牛

評価成績2014-8月

ELMLANE MR ALEX
JP3H55206
 個体識別番号: 02680-1359-0
 平成21年6月21日生
 繁殖者: 北海道 有限会社 福屋牧場

NEW NTP No. **4**

エルムレーン ミスター **GH-X♀**
アレックス BLF/CVF/BYF 88点 **RC Red Carrier**



- 「バーズ」×「ジェット ストリーム」×「ガーター」のアウトクロス
- 母系は高インデックスカウ「パトロン アリー」VG-86
- レッド キャリアで産子難産率6の**安産タイプ**

乳代効果 全国第 3 位	乳量 全国第 3 位	産乳成分 全国第 5 位
S N F 量 全国第 3 位	乳蛋白質量 全国第 5 位	乳用強健性 全国第 8 位

- ♂ デュドツク ミスター バーズ ET
 - ♂ マーキム サンダー
 - ♀ グランダツク マギー ストーム ET
- ♀ エルムレーン J ストリーム アレキサンドラ ET VG-86
 4-06 2X 365 M14,663 F517 3.5% P465 3.2% SNF1.253 8.5%
 - ♂ アツブルイス ジェット ストリーム ET
 - ♀ アツブルイス ガーター オールイグラ ET VG-86
 2-03 2X 365 M22,240 F899 4.0% P651 3.0%
 - ♂ ウエルカム ガーター ET



プリンセステール アレックス タイラー
 鹿追町/石村 正昭氏 所有 母の父/アイランド ウインチエスター ドリーム ET



プリンセステール アレックス タイラー

NTP 全国第4位にランキングされたアレックスは、「パトロン アリー」ファミリーより輩出されたバーズによるアウトクロス息子です。

母エルムレーン J ストリーム アレキサンドラ ET VG-86は、当社が実施している乳用牛優良遺伝資源造成事業で平成17年度にアメリカより導入した受精卵により恵庭市(有)福屋牧場で生産されました。彼女は、体高・体長があり乳用強健性に優れ、初産時より高乳量と高乳蛋白を示していました。

高祖母のニューウエイ パトロン アリー ET VG-87は、パトロンを代表する娘牛で高インデックスカウとして知られており、またゴールドンオックス ST アレキサンダー ETの母としても知名度があります。当ファミリーは、高い泌乳能力と高い乳成分率に定評があり、世界中に数多くの優秀な遺伝子を輩出しエリートカウとして活躍しています。

アレックスの娘牛は、体長があり胸幅広く鋭角性に富んでいます。高い泌乳能力でありながら、乳器は後乳房の高さ幅があり高い底面を維持しています。

バーズ×ジェットストリーム×ガーターと極めてアウトクロスで、産子難産率6と安産タイプであることから、広範囲に交配が可能で、さらに、アレックスはレッドキャリア種雄牛であることも魅力の一つです。

ENDEAVOUR COSMO GALAXY ET
JP3H55177
 個体識別番号: 03804-0735-2
 平成21年6月1日生
 繁殖者: アメリカ ジョン ラーソン
 生産者: 北海道 会津 司氏

NEW NTP No. **2**

エンデバー コスモ **GH-X♀**
ギヤラクシー ET BLF/CVF/BYF 87点



- 極めて高い生産能力と乳器の優れたプラネット息子牛
- 母は世界を代表するエリートカウ「コスモポリタン」VG-87
- 鋭角性に富み産子難産率6の**安産タイプ**

乳代効果 全国第 1 位	産乳成分 全国第 1 位	乳量 全国第 1 位
乳脂量 全国第 1 位	S N F 量 全国第 1 位	乳蛋白質量 全国第 3 位

- ♂ エンセナダ タブー プラネット ET
 - ♂ ローズボーン タブー ET
 - ♀ プルシヤンスキー アメル パティ ET
- ♀ ラークレスト コスモポリタン VG-87
 2-04 2X 365 M14,030 F572 4.1% P508 3.6%
 - ♂ ビックストーン ショツテル ET
 - ♀ ラークレスト オーサイド シャンパン フタゴ EX-90
 2-03 2X 365 M13,204 F600 4.5% P489 3.7%
 - ♂ コムスター アウトサイド ET



ギヤラクシー セプテンバー コウダイ A フタゴ
 中札内村/有限会社 新乳内生産組合 所有 母の父/パーシュート セプテンバー ストーム ET



ギヤラクシー セプテンバー コウダイ A フタゴ

NTP 全国第2位にランキングされたギヤラクシーは、現在、世界で最も人気の「ラークレスト」ファミリーより輩出された乳代効果全国第1位のプラネットによる息子牛です。

ギヤラクシーは、当社が実施している優良遺伝資源造成事業で平成20年度にアメリカより導入した受精卵により天塩町 会津司牧場で生産されました。

母ラークレスト コスモポリタン VG-87は、今やミネソタ州ラークレスト牧場の看板牛で、乳用強健性に極めて優れ、正確な肢蹄・尻の構造、さらに乳器の付着形状に優れたショツテルを代表する娘牛です。当ファミリーは、機能的体型と安定した泌乳能力、さらに耐久性に定評があり、娘のラークレスト クリムソン ET EX-92や孫娘のラークレスト カル ET VG-89は現在の北米の評価成績においても上位にランキングされ、北米ゲノミクス成績においても高評価の子孫を輩出しており、世界が最も注目するエリートカウファミリーです。

ギヤラクシーの娘牛は、鋭角的で乳用強健性に極めて富み、尻の形状・角度よく、乳器は形状・資質に優れています。乳代効果・乳量・乳脂量・無脂固形分量は全国第1位と高能力を維持しながら、好乳器評価+1.42であることが特徴であります。さらに、産子難産率が6であり、安産タイプの新規プラネット種雄牛です。

新規種雄牛の紹介 乳用種雄牛

評価成績2014-8月

OMURA SWEETY HARANGUE
JP3H55178
 オムラ スイーティー
ハラング
 BLF/CVF/BYF
 90点

個体識別番号: 03368-0636-9
 平成21年5月23日生
 繁殖者: 北海道 小椋 義則 氏

NTP No. **6**



本牛
 母牛

オムラ スイーティー エー ルー ET

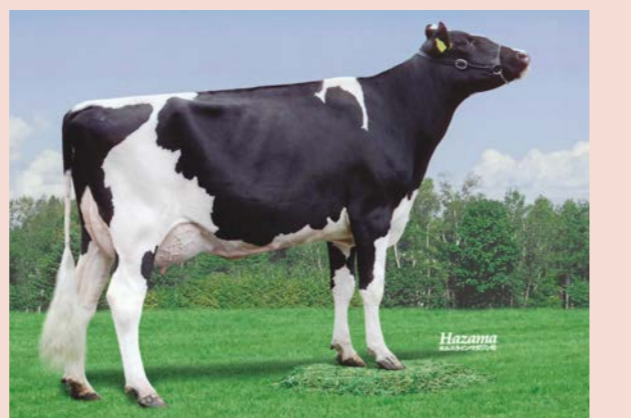
- 「パラマウント」×「ロウ」のアウトクロス
- 乳成分量高く特に乳蛋白質量は全国第1位
- 高い乳器改良効果で、特に後乳房の高さと幅に優れる

乳蛋白質量 全国第 1 位	乳蛋白質率 全国第 5 位	SNF量 全国第 6 位
乳代効果 全国第 9 位	乳量 全国第 9 位	産乳成分 全国第 6 位

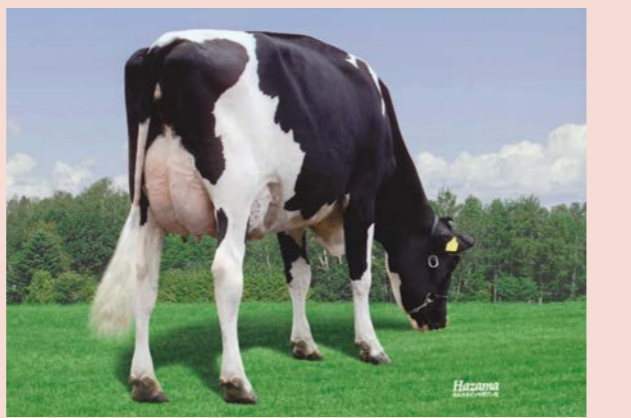
- ♂ デルタ パラマウント
 - ♂ ジョツコ ベスン
 - ♀ カクテル デルタ ハート
- ♀ オムラ スイーティー エー ルー ET GP-84
 4-09 2X 305 M15.263 F644 4.2% P508 3.3% SNF1.331 8.7%
- ♂ ジエニールー マーシャル P149 ET
- ♀ オムラ スイーティー フォー ET VG-87
 2-00 2X 305 M14.734 F619 4.2% P486 3.3% SNF1.291 8.8%
- ♂ ストーダー モーティー ET

NTP全国第6位にランキングされたハラングは、乳蛋白質量が全国第1位のデルタパラマウントによる息子牛です。母系は、我が国に多くのエリートカウや著名な種雄牛を輩出している名血「スイートネス」ファミリーで、枝幸町 小椋義則牧場で生産されました。当ファミリーから、2014-8月公表のNTP種雄牛評価成績トップ20位以内に4頭がランキングされており、どの種雄牛も高い泌乳能力と機能的体型という特徴を持っています。祖母のオムラ スイーティー フォー ET VG-87は、雌牛評価で最高ランクNTP第3位になるなど、初産時より高い泌乳能力と雄大なフレーム、そして付着強い乳器を兼ね合わせ、モーティーを代表する国産牛と言っても過言ではないです。母オムラ スイーティー エー ルー ET GP-84においても乳用強健性・肢蹄構造に極めて優れ、初産時の305日能力も2歳1ヶ月でM12,838kg F4.2% P3.6% SNF9.0%と高乳量と高乳成分率を發揮しました。計画交配時には、当時アウトクロスで乳器・肢蹄評価が高かったパラマウントを選択しました。

ハラングの娘牛は、中型サイズで体長があり斜尻の傾向で、乳器の付着に優れ、特に後乳房の高さと幅があり高い乳房底面を維持します。また、乳成分量が高く、乳蛋白質量の改良は全国第1位(+81kg)です。ハラングは機能的体型と産乳能力に優れた魅力を持つ新規種雄牛です。



ノーマル ピクトリー スイーティー 2 フタゴ
 池田町/株式会社 納・牧場 所有 母の父/プライス ピクトリアス サブラ



ノーマル ピクトリー スイーティー 2 フタゴ

ENDEAVOUR JUDY VOICE
JP3H55080
 エンデバー ジュデイ
ヴォイス
 BLF/CVF/BYF
 86点

個体識別番号: 03804-0715-4
 平成21年3月10日生
 繁殖者: 北海道 会津 司 氏

NTP No. **15**

GH-X♀



本牛
 母牛

エンデバー タイタニック ファースト ジュデイ ET

- 好体型のページワイアー息子牛
- 長命性に優れた“コンバース ジュデイ ファミリー”
- 正確な尻の構造を示し乳器改良効果は全国第4位

耐久性成分 全国第 4 位	乳器 全国第 4 位
-------------------------	----------------------

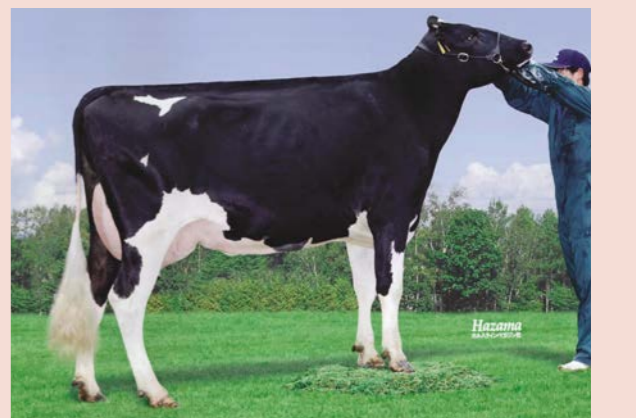
- ♂ プレイデール ページワイアー ET
 - ♂ サマーシエード インクワイアー ET
 - ♀ プレイデール ベイラー トウイン ET
- ♀ エンデバー タイタニック ファースト ジュデイ ET VG-85
 7-07 2X 305 M11.315 F431 3.8% P348 3.1% SNF984 8.7%
- ♂ ハートライン タイタニック ET
- ♀ エンドレス ジュデイ ET VG-86
 2-02 2X 305 M13.876 F570 4.1% P464 3.3% SNF1.272 9.2%
- ♂ ウエルカム ガーター ET

NTP全国第15位にランキングしたヴォイスは、機能的体型と長命・連産性に定評がある“コンバース ジュデイ”ファミリーより輩出された好体型ページワイアー息子牛です。母系は、アイオワ州モーニングビュー牧場を代表するカウファミリー“モーニングビュー コンバース ジュデイ EX-93”より由来し、ヴォイスは5世代目になります。当ファミリーは、中型サイズで尻・肢蹄構造が極めて正確で、乳器の付着が強く極めて機能的に優れ、そして遺伝伝達能力に優れていることに定評があり、日本国内はもとより海外でも活躍が顕著でファミリーが枝葉を広げています。祖母のエンドレス ジュデイ ET VG-86は、当団種雄牛JP3H53655エンドレス ジアンピの母と全姉妹で、平成14年度に当団がアメリカより導入した受精卵より生産されました。祖母ジュデイにハートライン タイタニックを交配した受精卵が天塩町 会津司牧場で移植され、生産された母エンデバー タイタニック ファースト ジュデイ ET VG-85は、体長があり、肢蹄・尻の形状が正確で、何といたっても前後乳房の付着が良いことが特徴でした。

ヴォイスの娘牛は、中型サイズで鋭角性に富み、尻の形状が理想的です。乳器は前後付着強く、後乳房の高さと幅があり底面が高いことが特徴です。耐久性成分が全国第4位、乳器が全国第4位(+1.87)とファミリーの特徴を十分に伝達する期待の新規種雄牛です。



レークランド ボンチアク ジュデイ 12
 湧別町/久保 隆幸 氏 所有 母の父/エー タウンソン リンディ ET



ウエダファーム ラサム カイト
 湧別町/株式会社 ウエダファーム 所有 母の父/パーシユート セプテンバー ストーム ET

第20回

ニューウェイ パトロン アリー ET VG-87

写真1



500万円)でイリノイ州のゴールデンオークス牧場に購入され、マンフレッドやオーマン、アジソンによる娘牛を残しました【写真3】【写真4】【写真12】。これら娘牛達の血液は日本国内にも多く導入され、それぞれが枝葉を拡げ活躍しています。種雄牛造成にも長けており、長命性に優れたカーターズコーナーアリー ET、日本のショウでも活躍中のゴールデンオークス アレキサンダー ET【写真11】、NTPで第2位に位置した国産種雄牛JP3H52485ゴールデンオークス アルフォンゾ ET【写真5】が代表的な種雄牛です。また娘牛のゴールデンオークス オーマン アリー ETの枝葉は北米でゲノミック評価の高い

娘牛を残しエリートカウとして活躍しています。

ゴールデンオークス アリソン ETの流れからは、ガーター×アジソン×パトロンという産乳能力に優れた血統構成のアツプライス ガーター オールイグラ ET【写真7】が初産365日 M22,240kg F899kg 4.0% P 651kg 3.0%と稀代のレコードを残しました。オールイグラは決して大きな牛ではありませんが、力強いフレームと乳器を持っていました。当団では平成17年に種雄牛造成用としてオールイグラにジエツトストリームを交配した受精卵を導入しました。4卵が恵庭市(有)福屋牧場で移植され、3頭の雌が誕生しました。3頭とも初産305日で10,000kgを突破し、3産4産と産次を重ね、VGを獲得しました。その中でも最もインデックスの高かったエルムレーン J ストリーム アレキサンドラ ET【写真9】と雄契約をし、誕生したのがバーンズによる息牛アレックスです。またオールイグラによるゴールドウインの大樹町穀内和夫牧場のエンブレムK ゴールドウイン アリレナ ET【写真8】はEX-92点を獲得し、2011年の第15回北海道総合畜産共進会において1等に入賞する活躍を見せています。

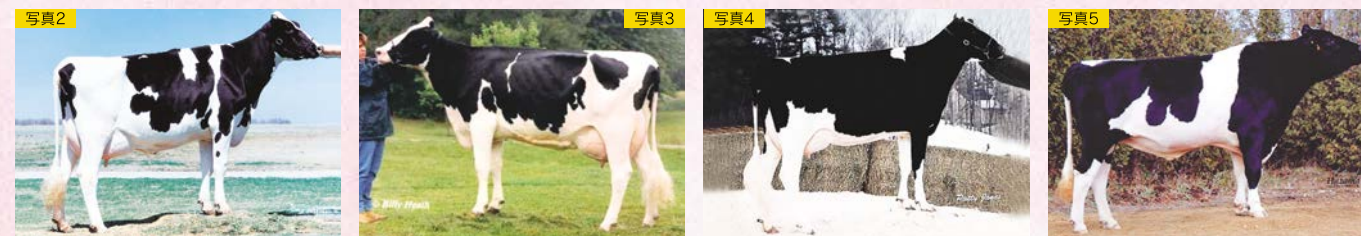
高能力・好乳器のアリー ファミリーは、今後も国産種雄牛の登場が期待される注目のカウファミリーです。

2014年8月公表の国内種雄牛評価値において、当団新規種雄牛JP3H55206 エルムレーン ミスターアレックス【写真10】がNTP初登場第4位にランキングしました。今回はアレックスを輩出したニューウェイパトロン アリー ET【写真1】を代表牛とするアリーファミリーを紹介します。

当ファミリーはアメリカ イリノイ州ホイルトンのデニス、パム・ノイハウス両氏が経営するニューウェイ牧場から輩出されました。パトロン アリーの母ニューウェイ エアロスター アリー ET【写真2】はエアロスター×メルウッド×アイバンホーベルという現在の乳牛改良を築いた3系統から作出され、彼女のパトロンによる娘牛パトロン アリーがCTPI第1位に輝いたことにより、その名が全世界へと広まり海外AIセンターより一躍脚光を浴びました。

当ファミリーは中程度のサイズながら、極めて高い泌乳能力と高い乳成分率が特徴的です。パトロンアリーは初産305日で13,000kgを超え、乳脂肪率3.9%と極めて産乳能力に優れていました。彼女は2歳8カ月でVG-87点を獲得し、彼女の娘牛も機能的体型に幅と深さを備えた非常にデイリーなフレームと、付着の強く幅のある乳器を受け継ぎました。2歳時にローゼスセールにおいて\$44,000(当時にして約

系統図



- ♀ ニューウェイ エアロスター アリー ET VG-87 (S:エアロスター) 【写真2】
- ♀ ニューウェイ パトロン アリー ET VG-87 (S:パトロン) 【写真1】
- ♀ カーターズコーナー マン アリー ET VG-87 (S:オーマン) 【写真3】
- ♂ カーターズコーナー アリー ET (S:マンフレッド)
- ♀ カーターズコーナー マン アルデイ ET EX-90 (S:マンフレッド) 【写真4】
- ♂ ゴールデンオークス アルフォンゾ ET (S:アジソン) JP3H52485 【写真5】
- ♂ ゴールデンオークス アラン ET (S:アーロン) JP3H52323 【写真6】
- ♀ ゴールデンオークス アリソン ET VG-87 (S:アジソン)
- ♀ アツプライス ガーター オールイグラ ET VG-86 (S:ガーター) 【写真7】
 - ♀ H K ゴールデン アリソン ET VG-87 (S:ゴールドウイン)
 - ♀ HK ランカスター アリソン (S:ランカスター)
 - ♀ エンブレムK ゴールドウイン アリレナ ET EX-92 (S:ゴールドウイン) 【写真8】
 - ♀ エンブレムK プロント アリー (S:プロント)
 - ♀ エンブレムK アイオーン アリツサ ET (S:アイオーン)
 - ♀ エンブレムK モーグル アリサ (S:モーグル)
 - ♀ エンブレムK ウインドブルック アリン (S:ウインドブルック)
 - ♀ エンブレムK マツカチエン アリレイ ET (S:マツカチエン)
 - ♀ エルムレーン J ストリーム アレグレット ET VG-85 (S:ジエツトストリーム)
 - ♀ エルムレーン サンチエス アレグレット (S:サンチエス)
 - ♀ エルムレーン バンガード アレグレット (S:ラバンガード)
 - ♀ エルムレーン マツカチエン アレグラ (S:マツカチエン)
 - ♀ エルムレーン スパーク アレグレット (スパークリング)
 - ♀ エルムレーン マツカチエン アレグレット (S:マツカチエン)
 - ♀ エルムレーン J ストリーム アラベスク ET VG-87 (S:ジエツトストリーム)
 - ♀ エルムレーン マセラティ アラベスク (S:マセラティ)
 - ♀ エルムレーン J ストリーム アレキサンドラ ET VG-86 (S:ジエツトストリーム) 【写真9】
 - ♂ エルムレーン ミスター アレックス (S:ミスターバーンズ) JP3H55206 【写真10】
 - ♀ エルムレーン ミリオン アレキサンドラ (S:ミリオン) VG-85
 - ♀ エルムレーン マツカチエン アレキサンドラ (S:マツカチエン)
- ♂ ゴールデンオークス ST アレキサンダー ET (S:ストーマティック) 【写真11】
- ♀ ゴールデンオークス オーマン アリー ET VG-85 (S:オーマン) 【写真12】
 - ♀ アツプライス マーシュ アリー VG-86 (S:マーシュ)
 - ♀ ニューウェイ ボルトン アリー ET GP-84 (S:ボルトン)
 - ♀ ニューウェイ ジョーズ アリー ET VG-86 (S:ジョズ) 【写真13】
 - ♀ テイマー スーダン アリス ET VG-85 (S:スーダン) TPH+2306
 - ♀ メラリー ロジャー アダ ET (S:ロジャーズ) GTPI+2427
 - ♀ メラリー マック コアラ ET (S:マック) GTPI+2405
 - ♀ テイマー シヤムロツク オーヒル ET (S:シヤムロツク) 【写真14】 TPH+2259
 - ♀ テイマー モーガン アリー ET (S:モーガン)
 - ♀ ストレチア モーガン フレンド エルサ ET (S:モーガン)
 - ♀ テインカーベル スーダン アルバニイ ET (S:スーダン)
 - ♀ ニューウェイ スーダン アリー ET (S:スーダン)



第16回 北海道総合畜産共進会(肉用牛部門)

第16回北海道総合畜産共進会(肉用牛部門・馬部門)が9月6・7日に河東郡音更町の十勝農協連家畜共進会場(アグリアリーナ)で開催されました。

肉用牛部門の「総合共進会」は4年に一度の開催であり、全道各地の共進会で勝ち上がった精鋭が143頭(述べ頭数)集まり頂点を目指しました。

第2部門未経産(生後10ヶ月以上15ヶ月未満)の部は、北海道繋養種雄牛および北海道産種雄牛産子のみ参加資格が与えられる部であり、平成23年度より実施されています。この部では北海道の特徴ある牛群構成を進めていくための産子の特徴の把握と保留の啓発を目的としています。

本共進会では全道より9頭の出品があり、当団の種雄牛においては、H黒-187「勝早桜5」産子4頭、H黒-200「松福久」産子1頭、H黒-

80「北平安」産子1頭、JB-24「北乃大福」産子1頭の計7頭を出品いただきました。

1回目の引き出しで1歩前に出たのは、「勝早桜5」産子4頭全てと「松福久」産子1頭の5頭でありました。

首席を獲得したのは、JA今金町の野田定雄氏の「かつはや」号(勝早桜5×勝忠平)《写真1》、1等2席には同じく「勝早桜5」産子のJA北石狩(当別町)の(株)榮田畜産の「かつはよい」号(勝早桜5×福桜)《写真2》が輝きました。

首席の「かつはや」号は、13ヶ月齢弱にて体高が123.6cmと非常に発育が良く、審査委員長を務めた公益社団法人全国和牛登録協会の池田和徳参与より、発育が1.5σ程度であり、サイズとしては良い評価、体上線が強く、雌牛らしさを持っており、体の深さ、長さのバランスが良いとの講評をいただきました。

現在、北海道内の素牛市場において「勝早桜5」産子の上場が増えてきました。体高、体幅、体伸が良く、体積があるだけでなく、皮膚のゆとりや毛質など資質にも優れている産子が多く見受けられ、素牛購買者の皆様方にも高い評価をいただいております。

今回の共進会の結果は、本年度より授精が始まる第11回全国和牛能力共進会(平成29年度宮城県開催)への弾みにもなりました。

【参考】
2等1席 203 さあふ号(松福久×金幸)JA道央(江別)星尚臣氏《写真3》

2等2席 205 なでかつ号(勝早桜5×安福久)JA今金町 佐藤弘一氏《写真4》

2等3席 206 いずみ号(勝早桜5×安福久)JAようてい(真狩)金丸勝氏《写真5》

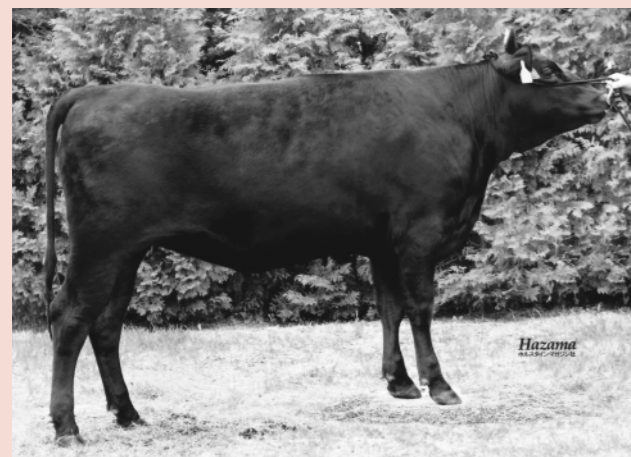


写真1 かつはや号(H黒-187勝早桜5産子)



写真2 かつはよい号(H黒-187勝早桜5産子)



写真3 さあふ号(H黒-200松福久産子)

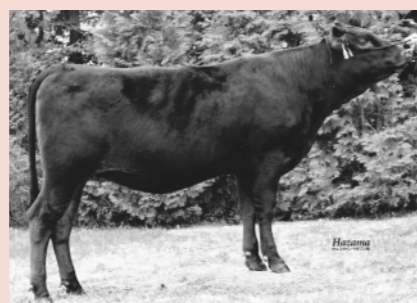


写真4 なでかつ号(H黒-187勝早桜5産子)

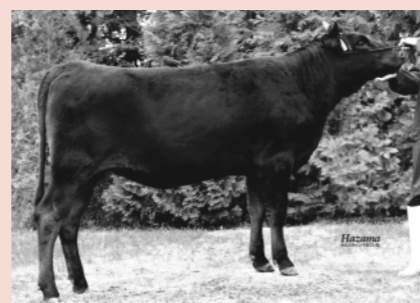


写真5 いずみ号(H黒-187勝早桜5産子)

平成26年度前期 新規現場後代検定実施種雄牛の紹介

当団では、黒毛和種種雄牛能力評価の為に公益社団法人全国和牛登録協会の和牛産肉能力検定現場後代検定法(以下:現場後代検定)による年間8頭の種雄牛の現場後代検定を実施しています。平成26年度前期分の現場後代検定実施種雄牛を紹介させていただきます。

H黒-252 北清桜

【キタキヨザクラ】

黒原 5732 平成25年1月12日生
得点84.3点 生産者:北海道 込山 清右エ門

隆之国	福之国	北国7の8
	第17たかこ	隆桜
えりか	福桜(宮崎)	隆桜
	いずみ	安平



母「えりか」は初産の去勢牛(父:忠富士)で格付A-5、BMS No.10、ロース芯面積69cm²、枝肉重量516kgを記録している高能力繁殖雌牛です。本牛は、この母「えりか」に脂肪交雑能力の高さにおいて全国で定評がある「隆之国」を交配し作出された藤良系種雄牛です。また、発育、体深、均称、資質、骨締め等により優れ審査得点は84.3点と高得点を獲得しています。種牛性の高い本牛は脂肪交雑はもちろん、体型の改良にも活躍が期待できる種雄牛です。

H黒-255 藤重栄

【フジシゲサカエ】

黒 14975 平成24年8月16日生
得点84.3点 生産者:青森県 NLBC奥羽牧場

第6栄	平田	第7糸桜
	さかえ1	糸藤(岡山)
すみれ	新糸行	藤花
	いよまれ262	第1花国



母「すみれ」は、去勢産子(父:北国茂)で格付A-5、BMS No.11、ロース芯面積62cm²、枝肉重量438kg、ほかにも去勢産子(父:北湖2)で格付A-5、BMS No.10、ロース芯面積64cm²、枝肉重量496kgを記録している高能力繁殖雌牛です。この母「すみれ」に藤良系の血統を固定することを狙いとし、ロース芯面積の大きさやバラの厚さなどで人気が高く全国で活躍した「第6栄」を交配することで生産された本牛は、抜群に優れた体積を持つことから脂肪交雑能力のみならず、増体能力にも優れる質量兼備の活躍が期待される藤良系の種雄牛です。